

その他報告事項

「LOGI-LINK」の取組状況について

「LOGI-LINK」の概要

● 3年間の実証実験として、2017年6月に開設

「LOGI-LINK」の意義

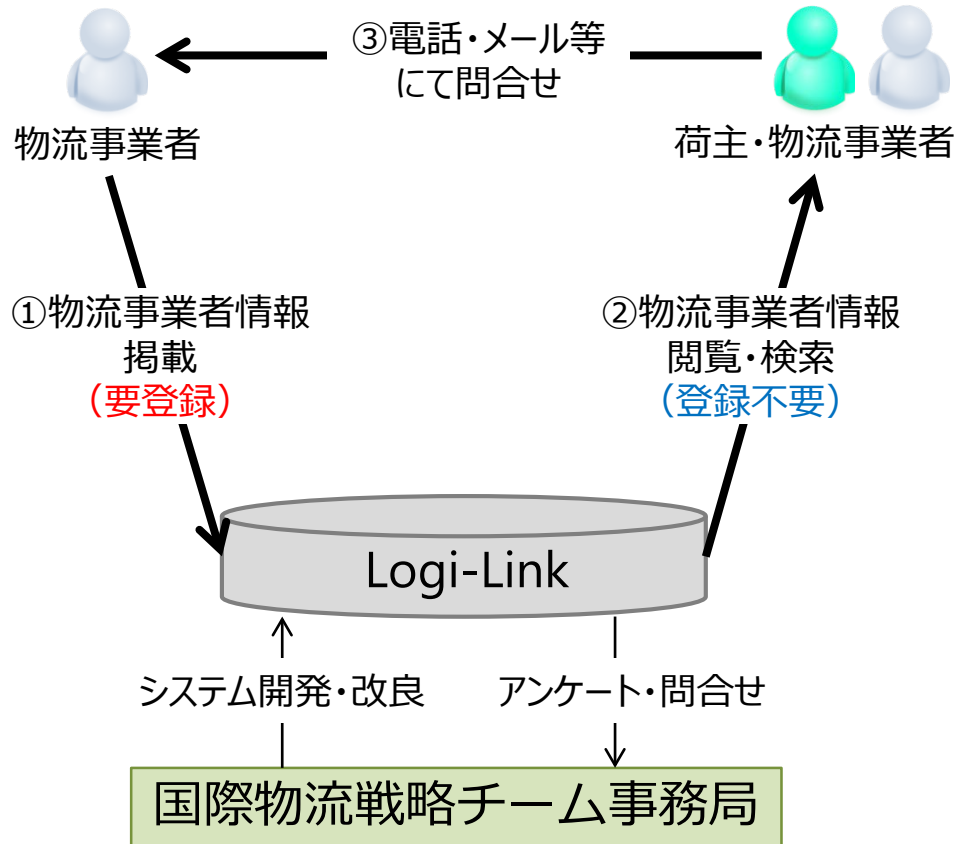
(荷主) 物流上のバリアを低減することで海外とのビジネスを促進
(物流事業者) 荷主の物流需要の発掘による物流サービスの創出を促進

目指す成果

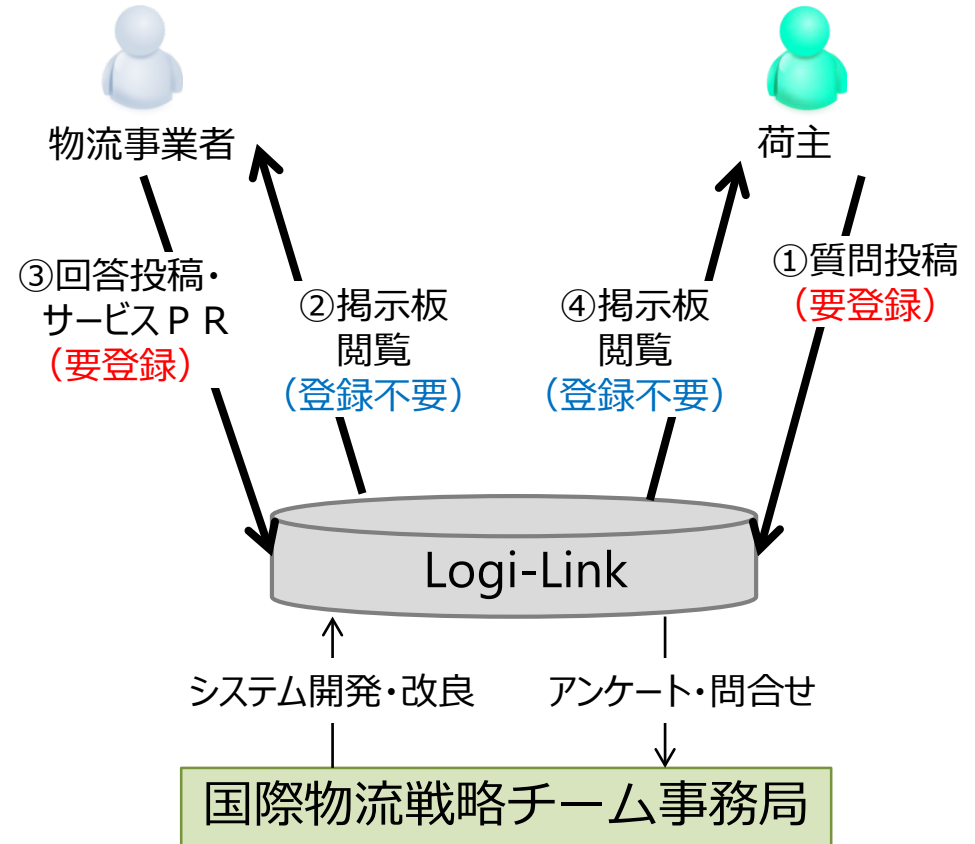
- 物流課題の解消による輸出の開始・拡大
- 新たな物流サービスの創出

→ 関西における貨物の創出

【機能① 物流事業者検索機能】



【機能② 物流情報掲示板】

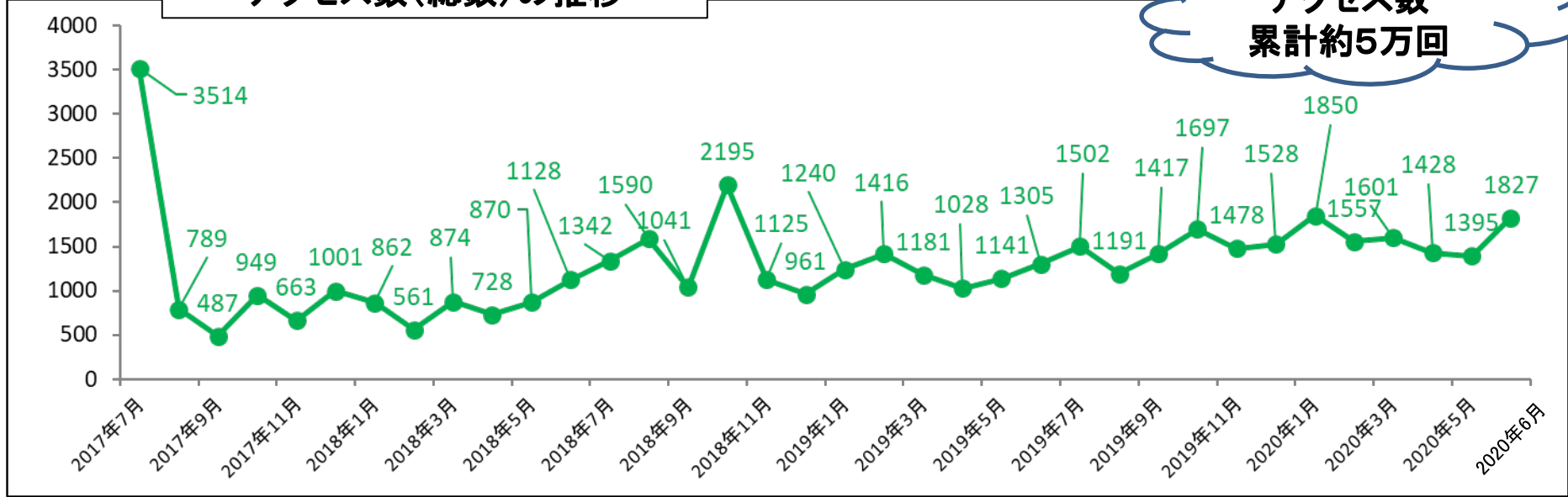


※ 荷主・物流事業者による「物流事業者検索機能」・「物流情報掲示板」の閲覧はアクセスフリー。
※ 物流事業者による「物流事業者検索機能」への掲載は、物流事業者情報の登録が必要。

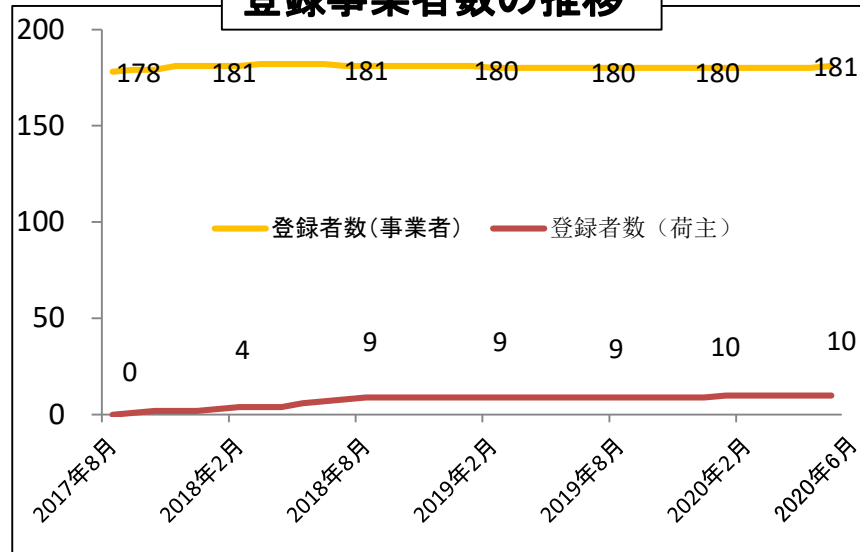
※ 荷主・物流事業者による「物流情報掲示板」への投稿は、簡易な利用者登録により可能。

「LOGI-LINK」の取組状況

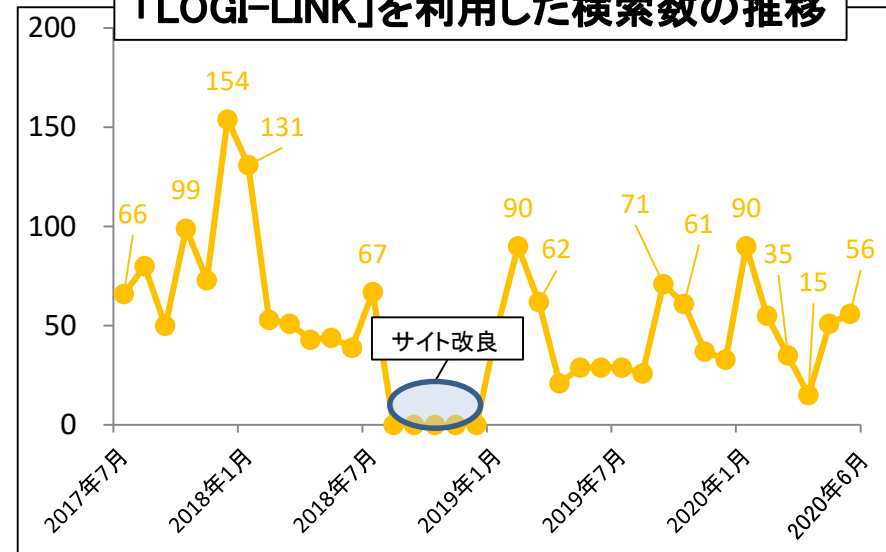
アクセス数(総数)の推移



登録事業者数の推移

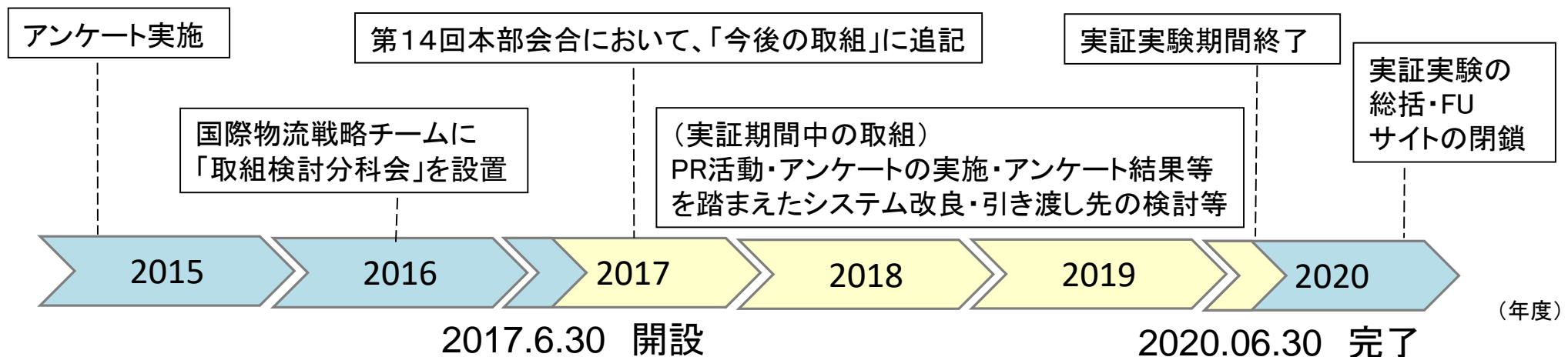


「LOGI-LINK」を利用した検索数の推移



「LOGI-LINK」の取組状況

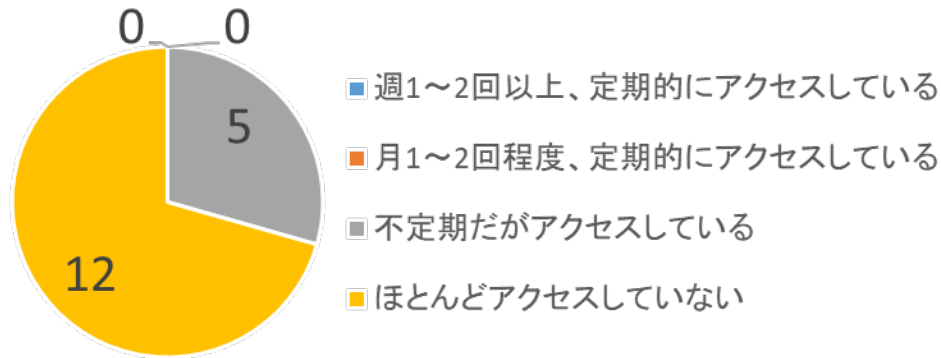
- 平成27年(2015年)12月に、現況の課題を把握し、取組検討分科会における議論の参考とするため、近畿地区内の事業者(製造業、卸売業、小売業、物流事業、協同組合)を対象に「近畿圏の物流に関するアンケート調査」を実施。
- 2016年6月に設置された「国際物流戦略チーム 取組検討分科会」において実証実験として取り組むことが決定され、物流事業者と荷主事業者及び物流事業者同士をパートナーとしてつなぐWebサイトとして2017年より運用を開始。
- サイト運用期間中においては、チラシ配布等のPR活動のほか、アンケート・ヒアリングを実施し、それらを踏まえたサイトの改良等の利用促進を行ってきたところ。こうした取組の結果、アクセス数の累計は5万回を超えるなど、一定のアクセス数があった。
- 今般、実証期間の満了に伴うサイトの閉鎖に際し、その利用実態や利用にあたっての問題点、現在の物流の課題について、実証実験の総括としてアンケートを実施した。アンケートの結果(次頁参照)、ビジネスマッチングを現在の物流の課題と挙げている者はいない一方で、トラックドライバー不足等を物流の課題として挙げる者が多く、現在の物流事業者・荷主事業者の課題が浮き彫りになった。



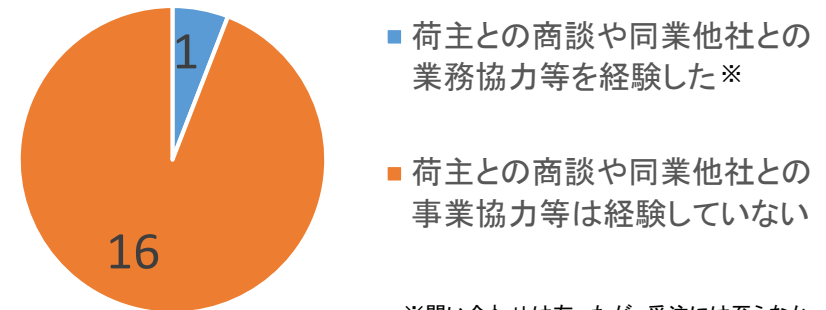
「Logi-Link」の取組総括

取組の総括として「Logi-Link」登録ユーザー 191名にアンケートを実施。
アンケートの回収率:12%(配布143名(配信不能48名を除く)中、17名より回答あり。)

● Logi-Linkへのアクセス状況について



● Logi-Linkを利用した商談や事業協力等の有無について



※問い合わせはあったが、受注には至らなかったとのこと。

● Logi-Link全般へのご意見

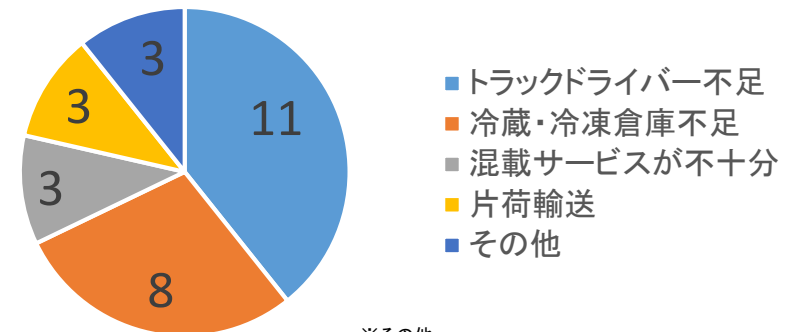
(良い意見)

- 取組み自体は有益だった。
- 問い合わせをいただいたこともあった。

(課題)

- 利用者側の登録や掲示板の活用等があまり見られなかった。
- 最近ネットで見える各種マッチングサイトと比べると、近畿圏の運送関係のみとターゲットが限定されているように見えたり、実際どれくらいの成約があったのかが解らなかった。
- 顧客はブラウザから業者等を検索する際に、キーワードを入力するが、「Logi-Link」というキーワードを入れない限りヒットしない。Web検索での上位表示などの対策がもっと必要だった。

● 物流事業者・荷主事業者が抱える物流の課題について



※その他

- ・コロナ禍での航空会社の減便による貨物スペース不足、航空運賃の高止まり
- ・人材不足 物流コスト上昇(人件費等)
- ・港湾のコンテナヤードでの混雑回避